

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

2026年3月期 第1四半期 連結決算の概要

2025年8月8日

連結：減収減益

売上高 15,546百万円(△ 630百万円)
営業利益 △ 176百万円(△ 219百万円)

売 上： 国内はがん治療領域や栄養領域が伸長したものの、海外で主力製品が減少したことにより減収

利 益： 製造経費等の削減効果はあったものの、海外主力製品の減収に伴う粗利の減少と販売費の増加により減益

システム別売上高

輸液・栄養： 薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、摂食嚥下関連用品の需要拡大による伸長があったものの、医療用手袋の減少で横ばい

血液・細胞： 血液バッグが継続伸長したものの、北米向け成分献血用回路が減少したことにより減収

地域別売上高

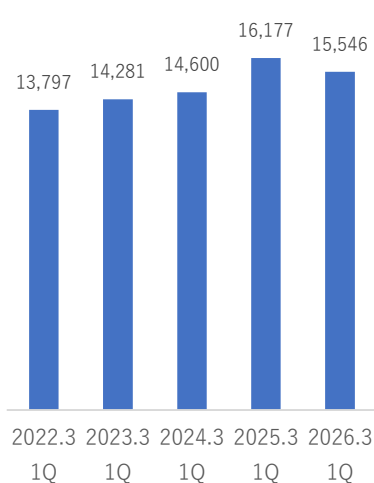
ア ジ ア： 血液バッグや中国向け血液透析装置が減少し減収

ヨーロッパ： A V F 針（血液透析用針）や血液バッグが堅調に推移し増収

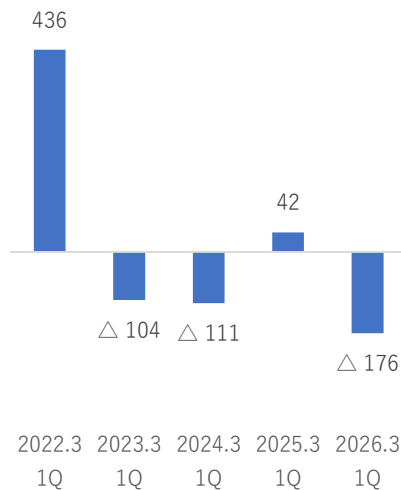
(単位：百万円)

	2025年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減額	増減率
売上高	16,177	15,546	△ 630	△ 3.9%
営業利益	42	△ 176	△ 219	—
経常利益	194	△ 283	△ 478	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 92	△ 459	△ 367	—

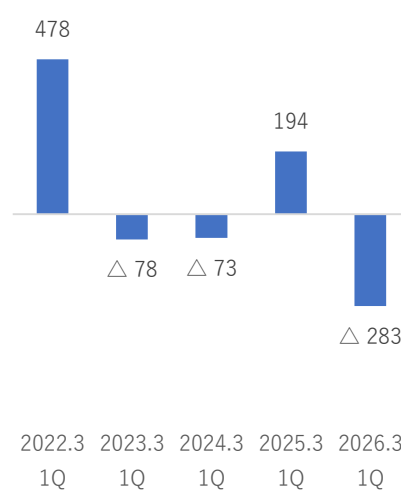
売上高



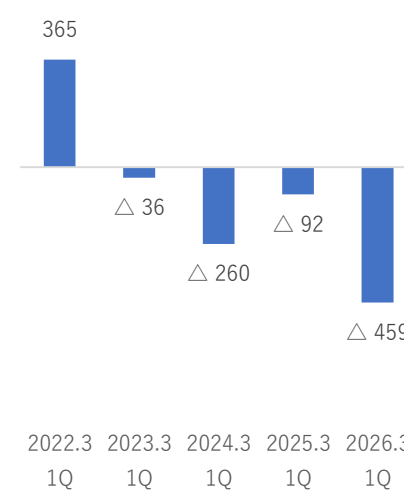
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムおよび摂食嚥下関連用品が継続して伸長したものの、中国向け血液透析装置および急性血液浄化装置が減少し減収
利益では、労務費や電力費などのコスト増加に加え、販売費が増加し減益
- ドイツ： 欧州向けA V F 針や血液バッグが堅調に推移し増収、増収効果により増益

（単位：百万円）

		2025年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減額	増減率
日本	売上高	10,705	10,545	△ 159	△ 1.5%
	利益	252	121	△ 131	△ 52.0%
シンガポール※	売上高	5,738	5,639	△ 99	△ 1.7%
	利益	40	△ 248	△ 288	—
中国	売上高	1,010	922	△ 87	△ 8.7%
	利益	△ 36	1	38	—
フィリピン	売上高	911	839	△ 71	△ 7.8%
	利益	△ 149	△ 150	△ 0	—
ドイツ	売上高	938	1,080	142	15.1%
	利益	74	129	54	73.9%
その他※	売上高	1,152	1,483	331	28.8%
	利益	△ 12	△ 43	△ 30	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

輸液・栄養領域

5,839 5,834 ■ 2025.3 1Q ■ 2026.3 1Q



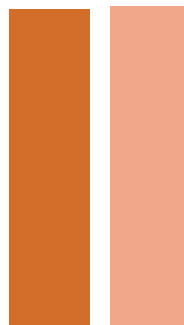
売上高

薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、摂食嚥下関連用品の需要拡大も継続したものの、医療用手袋の減少により横ばい



透析領域

4,810 4,865 ■ 2025.3 1Q ■ 2026.3 1Q



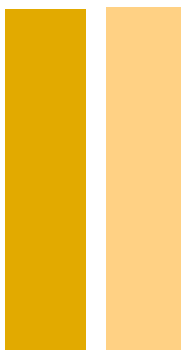
売上高

A V F 針が堅調に推移したものの、中国向け血液透析装置が減少し、横ばい



外科治療領域

1,298 1,305 ■ 2025.3 1Q ■ 2026.3 1Q



売上高

血液濃縮器が増加したものの、急性血液浄化装置が減少し、横ばい



血液・細胞領域

3,920 3,147 ■ 2025.3 1Q ■ 2026.3 1Q



売上高

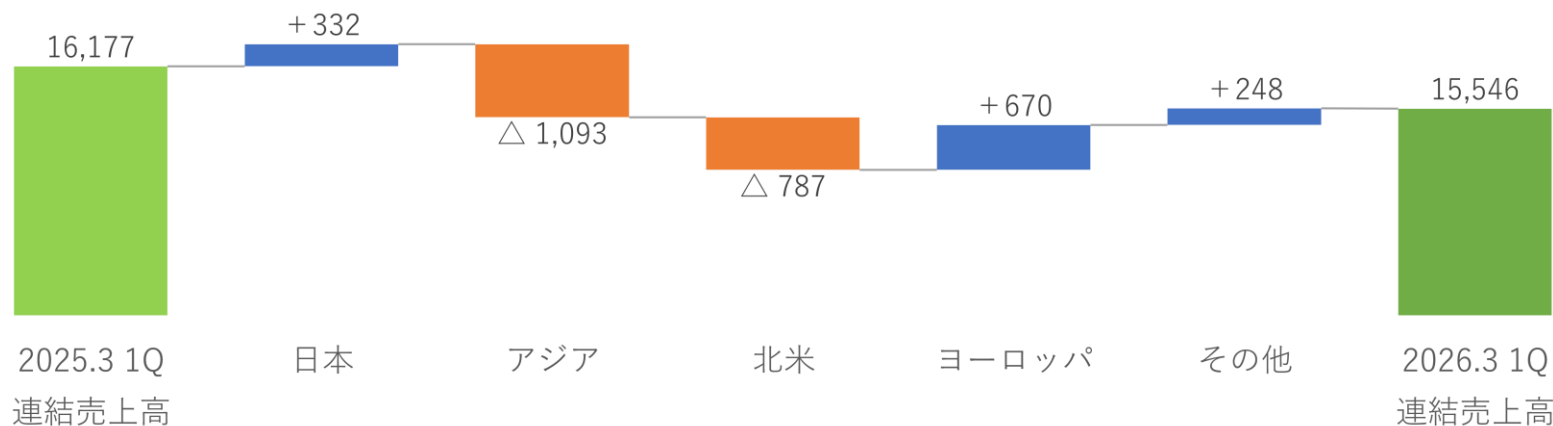
血液バッグが継続伸長したものの、北米向け成分献血用回路が大幅に減少したことにより減収



ヨーロッパではA V F 針が好調に推移し増収、日本国内においても、薬剤調製・投与クローズドシステムや摂食嚥下関連用品が引き続き好調を維持したものの、中国向け血液透析装置が減少したことに加え、北米向け成分献血用回路が減少し、連結では減収

(単位：百万円)

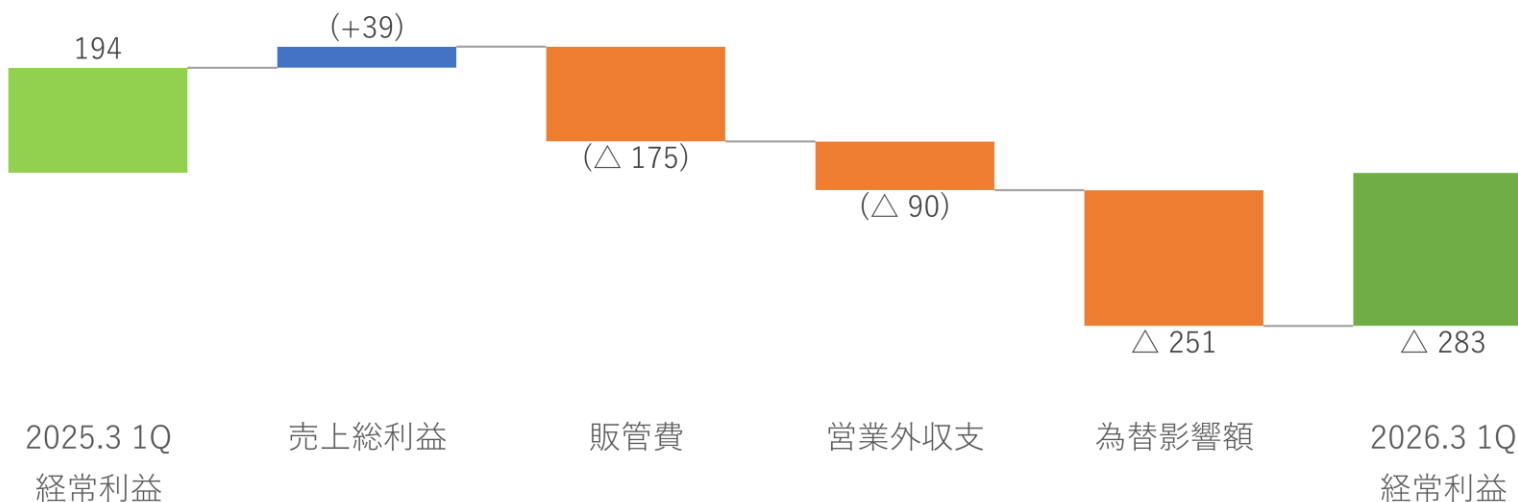
	2025年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	9,248	9,580	332	3.6%	61.6%
アジア	3,200	2,107	△ 1,093	△ 34.2%	13.6%
北米	1,923	1,135	△ 787	△ 40.9%	7.3%
ヨーロッパ	1,408	2,079	670	47.6%	13.4%
その他	395	643	248	62.8%	4.1%



海外主力製品である成分献血用回路や血液バッグの減収に伴う売上総利益の減少が大きく影響
製造経費等の削減効果、持分法による投資利益があったものの、販売費の増加や為替が不利に推移したことによる為替差損の計上が響き、経常損失

(単位：百万円)

※ () は為替の影響を除く



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2025年 3月期 1Q	155.88 円	161.31 円	115.21 円
2026年 3月期 1Q	144.59 円	160.50 円	111.11 円

業績予想については、2025年5月9日公表時から変更しておりません

(単位：百万円)

	2025年 3月期	2026年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	69,749	68,000	△ 2.5%
営業利益	872	900	3.1%
経常利益	514	600	16.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	200	123.4%

※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、
1米ドル＝140円、1ユーロ＝155円、1シンガポールドル＝106円としております。

- 売上： 国内は成長領域である薬剤調製・投与クローズドシステム、摂食嚥下関連用品の売上拡大のほか、海外は需要拡大が見込まれるA V F針や血液バッグの着実な取り込みを図る
- 利益： 国内外における成長領域の販売拡大と新規事業分野への取り組み、更には適切な価格転嫁や原価低減の促進により、利益回復を見込む



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。